

# 令和4年（2022）度事業報告書

（令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで）

〔認定特定非営利活動法人 こども医療支援 わらびの会〕

## 1. 事業実施

### ★ わらびの会運営組織の明確化、新型コロナウイルス感染拡大予防の徹底

- 【1】ファミリーハウス「がじゅまるの家」運営：理念に添って統括主任を中心に、利用者が安心・安全に心身共に安らげる滞在施設となるよう努めた。県立図書館一括貸出システム（6か月）の継続利用により、保護者向けの本の充実を図った。
- 【2】病院ボランティアに関する事業は、今年度も民間福祉基金の助成を受け、第30・31期 病院ボランティア養成講座を実施した。病院ボランティアが活動する場所を増やすための検討・活動を行った。
- 【3】広報事業は、毎月のホームページの更新、会誌発行等により広報に努めた。「認定NPO法人」取得により、税法上の優遇措置が受けられる事を周知するリーフレットを作成し、会員の増員並びに資金調達（寄附金集め）を積極的に行った。
- 【4】その他、目的達成事業は、◎今年度も県小児慢性特定疾病児自立支援事業（ピアカウンセリング事業）の委託を受け、こども医療センターでピアサポート活動を行った。・県立北部病院・名護療育医療センターは休止。  
初級編・ステップアップ編のセミナーを実施し、サポーターの養成と増員を図り、病児とその家族の支援に努めた。
- ◎ 合同クリスマス会を開催し、病児者やその家族がコロナ禍で色々な制限を受ける中、少しでも解放され楽しい時間を共有できた。
- ◎ コロナウイルスの影響により休止していたこども病院ラジオ(キラキラぶればランド)を再開にあたり準備をスタートさせた。
- ◎ 夢プロジェクトは、名護市との対話における企画提案を基に名護市の事業者公募に応募した。
- ◎ 「がじゅまるの家」でのきょうだい児 預かり保育の実施はなかった。

## 2. 事業の実施に関する事項

### 【1】特定非営利活動に係わる事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
遠隔地病児家族等の宿泊施設運営事業	ファミリーハウス「がじゅまるの家」受託運営	4月～3月 24時間体制	ファミリーハウス「がじゅまるの家」	11人	病児とその家族、ハウススタッフ 他	9,771
病院ボランティアに関する事業	病児家族の支援活動をする病院ボランティア養成講座(第30・31期)の開講	8月・2月	小児保健センター	20人	一般市民・学生 34人	258
	病院ボランティアの活動支援と活動中のボランティアのスキルアップのための勉強会開催	—	—	—	病院ボランティア 100人	0
広報事業	ホームページ管理・更新	通年	わらびの会 事務局	1人	会員・医療関係者・一般市民	70
	わらびの会だより発行・リーフレット印刷・広報冊子作成	10月	わらびの会 事務局	5人	会員・関係機関・一般市民	335
その他、目的達成事業	ピアサポート活動の実施	2月～3月	こども医療センター わらびの会	延べ 25人	子育て及び病児家族	186
	ピアサポートセミナー	11月	小児保健センター	10人	わらびの会 会員 他50人	517
	合同クリスマス会開催	12月	小児保健センター	235人	わらびの会・入院中の病児、きょうだい110人	150
	こども病院ラジオ・試作中(キラキラぶればランド)	7・11・12月	わらびの会	6人	医療センターに入院中の病児家族・ハウス利用家族	132
	夢プロジェクト(わらびの会 交流会)	—	—	—	わらびの会 構成団体50家族	0
	がじゅまるの家 預かり保育	—	—	—	—	がじゅまるの家 利用家族

### 【2】その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
自動販売機による飲料水販売事業	調整中					—